

みずほCustomer Desk Report 2022/12/14 号 (As of 2022/12/13)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値 GBP/USD	137.87 AUD/USD
TKY 9:00AM	137.50	1.0542	144.94	1.2268	0.6752
SYD-NY High	137.97	1.0673	145.30	1.2443	0.6893
SYD-NY Low	134.67	1.0528	143.55	1.2249	0.6730
NY 5:00 PM	135.57	1.0630	144.13	1.2365	0.6858

	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	34,108.64	103.60	日本2年債	▲0.0200%	▲0.0100%
NASDAQ	11,082.00	123.45	日本10年債	0.2500%	0.0000%
S&P	4,019.65	29.09	米国2年債	4.2120%	▲0.1676%
日経平均	27,954.85	112.52	米国5年債	3.6448%	▲0.1455%
TOPIX	1,965.68	8.35	米国10年債	3.5003%	▲0.1147%
シカゴ日経先物	28,000.00	▲ 25.00	独10年債	1.9050%	▲0.0280%
ロンドンFT	7,502.89	56.92	英10年債	3.2930%	0.0985%
DAX	14,497.89	191.26	豪10年債	3.4040%	0.0350%
ハンセン指数	19,596.20	132.57	USDJPY 1M Vol	11.32%	▲1.06%
上海総合	3,176.33	▲ 2.72	USDJPY 3M Vol	10.83%	▲0.87%
NY金	1,825.50	33.20	USDJPY 6M Vol	10.53%	▲0.57%
WTI	75.39	2.22	USDJPY 1M 25RR	▲0.93%	Yen Call Over
CRB指数	275.03	5.66	EURJPY 3M Vol	10.14%	▲0.62%
ドルインデックス	103.98	▲ 1.15	EURJPY 6M Vol	10.21%	▲0.49%

東京	東京時間のドル円は、137.50レベルでオープン。仲値にかけては前日のドル買いを引き継ぐ形となり137円後半まで上昇。その後は方向感出ず137円半ばから後半で揉みあい。午後に入ると、特段材料がない中、瞬間的に137.97をつけるも、米CPI発表を控えていることもあってか長続きせず、137円半ばまで再び下落、137.56レベルで海外時間へ渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、137.56レベルでオープン。午後に米指標を控えて、材料難も相まって全般に動意薄の中、137.27-84で取引され137.32レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	海外市場のドル円は注目イベント前で様子見姿勢が強まっており、137円台半ばで方向感無く推移し、137.32レベルでNYオープン。朝方は米11月CPIの伸びが予想以上に鈍化したことからドル売りで反応し、ドル円は135円台前半まで急落。その後も株高・米債券高・ドル安の流れが継続し、一時は135円を割り込み、安値134.67をつける。しかし、まだインフレ鎮静化について楽観できないとの見方があるほか、翌日にFOMCを控える中、その後は下げ渋る。午後は買い戻し優勢となり、135.60近辺までじり高推移。結局、135.57レベルでクロス。一方、海外市場のユーロドルも1.05レベル半ばでレンジトレードとなった。独12月ZEW景況感指数が予想以上の改善を見せるも、市場の反応は限定的。1.0549レベルでNYオープン。朝方は米CPIの予想下振れを受けて、ドル全面安となる中、一時1.0673まで上昇。ドル売り一巡後は反落するも1.06レベル前半でしっかり。午後は1.06レベル前半でもみ合い、結局、1.0630レベルでクロス。

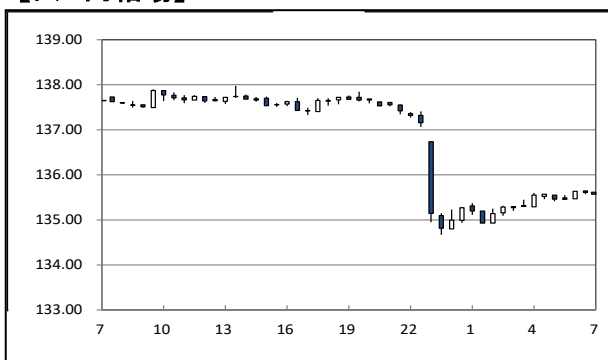
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
12月13日	16:00	独 CPI(前月比/前年比)	11月 -0.5%/10.0%	-0.5%/10.0%
	16:00	英 週平均賃金(除賞与/3ヵ月/前年比)	10月 6.1%	5.9%
	19:00	独 ZEW調査(現状/期待)	12月 -23.3/-61.4	-26.4/-57
	22:30	米 CPI(前月比/前年比)	11月 0.1%/7.1%	0.3%/7.3%

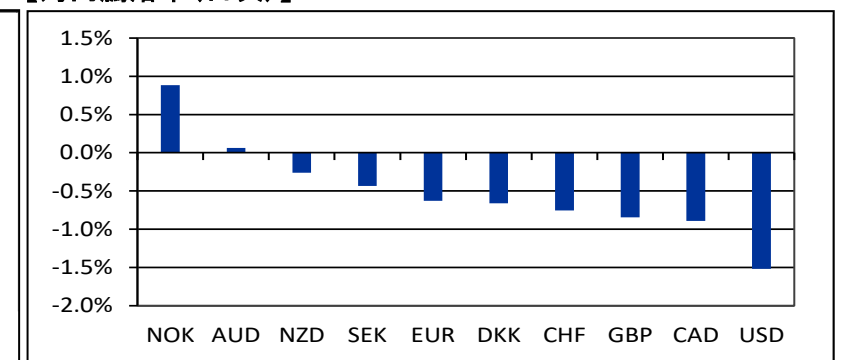
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
12月14日	13:30	日 鉱工業生産(前月比/前年比)・確報	10月 -	-2.6%/3.7%
	16:00	英 CPI(前月比/前年比)	11月 0.6%/10.9%	2%/11.1%
	19:00	欧 鉱工業生産(前月比/前年比)	10月 -1.5%/3.3%	0.9%/4.9%
12月15日	04:00	米 FOMC政策金利	14-Dec 4.25%-4.50%	3.75%-4.00%
	04:30	米パウエルFRB議長 記者会見	-	-

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	133.00-137.50	1.0500-1.0750	143.00-145.50

【マーケット・インプレッション】

東京時間のドル円は137.50レベルでオープン後、米11月CPIを控えしばらくは方向感のない推移。その米11月CPIで、予想以上にインフレの鈍化が確認されるとドル全面安となり、ドル円も急落。株高ドル安の流れが強まる中、一時134.67まで下落したものの、その水準では持ち直し、引けにかけてやや値を戻して135.57レベルでクローズした。本日のドル円は、明確な方向感が出るのはFOMCの政策金利発表およびその後のパウエル議長の会見内容次第か。50bp利上げが市場のコンセンサスとなる中、現状注目されるのは引き上げ幅ではなく、今後の引き上げ局面の持続性や引き上げ完了後の据え置き期間について。前日のCPIの結果を受け、上値の重い値動きを基本線としつつも、内容次第で上下どちらにもボラタイルな値動きになることを想定しておきたい。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 鈴木・木村